

<学校教育目標>

すべての子どもを「幸せ」にする学校

～ 今(現在)も これから(未来)も～

<学校経営方針>

- 1 教育の「**本質**」を追求し、子どもにとっての「**最善**」を実現する。
- 2 立場の壁を越えた「**対話**」により、合意形成を図る。
- 3 すべての子どもが、ありのままの自分でいられる「**安心感**」のある環境を整える。  
(心理的安全性)
- 4 前例にとらわれず、新たな取り組みに「**チャレンジ**」する。
- 5 物事に対する「**本気さ**」と他者に対する「**やさしさ**」を育てる。

<行動指針>

1 “ 本質 ” を問う

- ～ なぜを繰り返し、「最善」を追い求める ～
- ・ その活動は**何のために**やっているのか？
  - ・ 子どもの、「今」と「これから」に**本当に必要か**？
  - ・ 今の学校の仕組みを前提にしてないか？
  - ・ 過去の経験にとらわれていないか？
  - ・ 「**現在の子ども**の姿」を起点にして考えているか？

2 “ 対話 ” する

- ～ 一人の力と知恵には限りがある ～
- ・ 立場を超えた**対等な議論** (教師、保護者、地域)
  - ・ 忖度なし 否定なし 感情論なし
  - ・ **子どもの声を聴く** (子どもも人格を持った対等な“人”)
  - ・ 対話の機会の確保 (学校の開放:学校も社会の一部)
  - ・ 信頼関係の構築 (大人の仲の良さは子どもに影響する)

3 “ 安心感 ” がすべての基盤

- ～ 心から手足を思い切り伸ばせる安心感 ～
- ・ 子どものありのままの姿を受け入れる
  - ・ 子どもの育つ力を「**信じる**」
  - ・ 子どもの育ちを「**待つ**」
  - ・ 子どもの失敗を「**許す**」
  - ・ 大人が結果を急がない

4 “ チャレンジ ” する

- ～ 始めなければ何も変わらない ～
- ・ できない理由はいくらでもある
  - ・ 目の前の子どもはすぐに卒業してしまう
  - ・ 「**時代遅れ**」は「**手遅れ**」になる
  - ・ 100%の準備は知らない
  - ・ 失敗は「**大きな学び**」

5 “ 本気さ ” と “ やさしさ ” ～ 幸せな人生を送るために ～

物事に対する “ 本気さ ”

- ・ やりたいこと、好きなことを見つける
  - ・ **努力の「仕方**」を身に付ける
  - ・ **自分で考え 自分で決めて 自分がやる**
  - ・ 努力の過程を、大人が認める
- **自分を活かし自分らしく生きる**

他者に対する “ やさしさ ”

- ・ 自分の存在が認められていることの「**安心感**」
  - ・ 自分と他者の違いを認める「**多様性**」
  - ・ 自分のやりたいことのために**他者を犠牲にしない**
  - ・ 他者を幸せにすることに喜びを感じる
- **誰もが生きやすい よりよい社会の実現**

幸せな人生の実現